



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2017.4.3 Vol. **152**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学

平成29年度 入学式 学長告辞	1
平成29年度 入学式 理事長挨拶	2
学修に取り組む前に	3
キャンパスライフへの指針	5
学内TOPICS	8
キャンパスマップ	9
行事予定	11

入学おめでとうございます！



平成29年度 入学式 学長告辞

激動の社会を生き抜く、人間力を付けよう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ、福山大学においでくださいました。福山大学教職員一同、そして在学生一同、このように大勢の新しい仲間を迎えることができたことをこころから喜び、こころから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分に応えて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続きの物心両面でのご支援をよろしくお願いいたします。

さて、皆さんは本日、福山大学に入学しましたが、ここで何を学びますか。今、日本はグローバル化の波にさらされ、少子高齢化による生産人口の急減に直面し、また取り巻く世界を見れば暴力と混沌に翻弄されており、平穏で安泰な社会とはいささか隔たりがあります。しかも、このような傾向は一時的なものとは考えがたく、皆さんが本学で学び、卒業して社会で活躍する間にも一層強くなる可能性があります。人間社会の進歩、すなわち多くの人が物質的にも精神的にも豊かになり、かつ多様な価値観を人々がお互いに尊重して共に生きていくというような社会は、社会を担う人々のためめぬ努力と協力がなければ、すぐに後退するのです。したがって、多くの若者が大学へ進学する時代になったとはいえ、まだまだ高校生の半数しか大学に進学しない現代、こうして福山大学に入学した皆さんは、社会全体に対しても大きな責任を持っていると自覚して、意義深い大学生活を送ってほしいと思います。すなわち、他者と協力しながらも自分の力で生きていく、さらに他者を助け、社会に貢献する人間として生きていく、そのような人生を歩むための基礎的な力を福山大学に在学している間にしっかり身につけていただきたいのです。そのためには、皆さんが選んで入学してきた学部・学科の提供する専門的知識と技能はもちろん、もっと一般的な力である思考力、判断力、表現力、さらに主体性、協調性、他者への思いやりや高い倫理観といった態度までも学び、身につけてください。すなわち、次に述べる「全人教育」です。

福山大学は1975年に開学し、卒業生総数は約34,000人で、その中から備後地域を中心に、全国の様々な地域でリーダーや中核となる人材を数多く輩出しています。創設者による建学の精神は、「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神を実現するために、近年では仲間とともに、それでもできれば少々異質な仲間も含めて仲間とともに自ら課題を見つけ、解決方法を考え、実践して失敗を繰り返してそれを乗り越え、自分たちなりの解

決に至るという課題解決学修に代表されるようなアクティブ・ラーニングが、どの学部・学科でも、あるいは課外活動としても、とても盛んに行われています。海外研修やインターンシップもアクティブ・ラーニングです。入学を機に、勇気を持ってアクティブ・ラーニングに飛び込みましょう。未知のことへの多少のチャレンジ精神、失敗してもくじけない少し強い意志、そして仲間との助け合いの精神も少々必要ですが、課題を仲間とともに乗り越え、成果を手にしたとき、皆さんはちょっとした成功感と小さな自信を手にするはずですよ。これを4年間あるいは6年間積み重ねることにより、卒業時には福山大学卒業生として、他者への思いやりの精神を伴った強い人間力を持って卒業することになるでしょう。

さて、コンピュータ、IT技術、人工知能、ロボット等の急速な進歩は、第4次産業革命の段階に入ったともいわれ、人の働き方に非常に大きな変革を迫りつつあります。けれども、たとえば人工知能のロボットが囲碁の名人に勝ったとき、誇らしく喜んでいるのはロボットではなく、そのロボットを開発した人々のグループです。ロボットが囲碁の名人に勝ったことの意味を考えるのも、ロボットではありません。皆さんが大学を卒業して、それぞれの地域や部署で中核となって働く頃、コンピュータリゼーションはますます進んでいるでしょう。そのようなとき、人には人でないといけないことを成し遂げる能力や感性、自らの行為の意味を考え内省する力、そして人と人とのつながりを作り育てる力が、今以上に強く求められるようになるのです。専門的知識と技能を学ぶだけでは、不十分な理由がここにあります。大学という学びの場は、もっとも幅広く柔軟な知力と人間性に満ちた態度を身につけることのできる場です。在学中には是非、課題解決学修に代表されるアクティブ・ラーニング、すなわち主体的学修に仲間とともに果敢に取り組んで、新たな価値を創造する喜びと興奮を経験していただきたいと思います。

このように、学び方も学ぶ内容も高校時代の延長ではなく、新しい挑戦として少し頑張って、豊かな大学時代を過ごされることを心から期待し、そして私たち教職員は、皆さんが誇りと自信を持って卒業できるように、皆さんの日々の学びを惜しみなく支援することをお約束して、入学式告辞とします。



平成29年4月3日

福山大学 学長 松田 文子

学業と各種資格を必ず取るように

本日の記念すべき佳き日に平成29年度入学生のための入学式典が盛大に挙行されることにつき、心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さん、入学本当におめでとうございます。皆さんの入学を全教職員はじめ在学生も心から歓迎いたします。

また、本日は新入生の保証人の皆様にも多数ご列席をいただき、ありがたく厚く御礼申し上げます。本学としては保証人の皆様が大切にお育ていただいたお子様をお預かりするわけですから、知・徳・体の学力や体力を身につけるとともに、各種資格などもきちんと取って、立派な社会人として巣立つよう責任を持って育てることにしておりますので、どうか安心しておまかせいただきたいと思います。

さて、学校法人福山大学は福山大学と福山平成大学の2つの大学を持っております。その大学の建学理念としては、憲法並びに教育基本法の根本理念でもある「全人教育」を進めるという立場から「調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行い、国家、社会に役立つ有為な青年子女を育成する」ことを目標に全教職員が一丸となって、これを達成するよう努力しているところであります。

学校法人福山大学は、両大学のミッションとして「地域・社会で働く中核的な人材の育成」を掲げ、国家・社会はもちろん、取りわけ地域を大切に、これらに貢献する有為な人材の育成を目標に努力することにしております。

ご承知のように政府も平成29年度より進学や就職で地方に残る学生に対する奨学金の返済免除制度を拡充し、地方の企業やNPO、商工会議所等の「まち・ひと・しごとの創生総合戦略の改訂版」を決定し、実施することになりました。

さらに東京への学生の流入対策として、入学定員基準の厳格化で「大都市圏への学生集中を抑制する」ことも明記し、全国知事会が求めている東京23区の大学新設・増設の抑制は「教育政策の観点も含め総合的に検討し、平成29年度夏をめどに基本的な考えの取りまとめ」をすることにしております。

このような政府の方針を受け、両大学としては一層の修学環境の充実につとめるとともに、各種資格や各種技能検定などについて、必ず取得し将来の就職や起業に備えるよう厳しい指導をすることにしております。本学で取得できる資格の主なもの、中・高等学校の教諭、税理士、学芸員、建築士、防災士、情報技術者、バイオ技術者、管理栄養士、薬剤師等々多種多様であります。このような指導の成果として、就職についてはこのところずっとほぼ100%の就職率という全国平均を遙かに上回る高い実績を挙げております。

一方、わが国の国公私立大学777校(国立86、公立91、私立600)のうち600校が私立大学であり、そして学生数287万人のうち211万人が私立大学生、即ち高等教育の74%を私立大学が担っており、その責任は誠に重大であります。学校法人福山大学としては、全教職員が一丸となってその国家的期待と使命に応えるよう努力しているところであります。

さて、新入生の皆様に理事長として3つのお願いがあります。

その1つは、大学生となった以上は、自分が何を勉強し、どんな資格を取ったらよいかを自分でよく考え、きちんと決め、その目標に向かって日常的にしっかり努力してほしいことでもあります。もちろん大学生ですから毎日の授業にはきちんと出席し、所定の単位を必ず取るよう努力してほしいことは当然であります。

2つ目は、本学ではクラス担任制を取り、すべての学生について一人ひとりを教員がきちんと担任し、学修指導はじめ生活指導、就職や進学指導などを責任を持って行うことにしております。担任教師とのコミュニケーションを日常的によく取り、何でも相談し指導を受けるようにしてください。

3つ目は、在学中にたくさんの友人を作してほしいことです。友人は学生時代はもとより、卒業後も生涯にわたって付き合っていけるもので、どんな宝ものよりも貴重な財産となります。本学には外国からの留学生も多数在籍しておりますので、留学生に対しては積極的に日本の文化、伝統、言語等を理解してもらうよう交流を深め、また留学生からもその方の国の文化、伝統、言語等を学んでほしいと思います。

最後に、新入生の皆さん、大切で貴重な学生生活を夢と希望に満ちたものにし、立派な社会人となって保証人の皆様の期待に応えるよう、しっかり頑張してほしいと心から願ひし、お祝いの言葉といたします。



平成29年4月3日

学校法人 福山大学 理事長 清水 厚實

学修に取り組む前に

より良い学生生活を



この佳き春の日に、晴れてご入学の日を迎えられた新入生の皆さん、誠におめでとうございます。初めての一人暮らしや、これからの学生生活等多くの不安を抱えている方も多いと思います。そんなときは、是非とも周りの先輩に頼ってみてください。きっと、学生生活に役立つような(?)、様々なことを教えてくれると思います。

さて、そんな先輩たちとのつながりを作るうえで、1番多いのがサークル活動ではないでしょうか。福山大学には、活動しているサークルが体育会系・文化系合わせて60以上あります。これらのサークルは学友会という組織の中に置かれており、これを束ねるのが学友会執行部です。また、この他にも学生生活の向上のため、各種行事の企画・運営、地域との連携や社会貢献のためのボランティア活動等、様々なことを行っています。もちろん、新たに学友会の一員となる新入生の皆さんのための活動も行っています。お手元の資料の中にある「Campus Life」という冊子でサークル紹介を行ったり、サークルへの連絡用紙によって新入生と各サークルとの橋渡しを行ったりしています。

最後になりますが、このような活動を通して、皆さんのより良い学生生活の実現を願っています。

学友会会長

工学部 スマートシステム学科 3年 花見堂 大輔

いろいろなことに挑戦してみよう！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学は高校までと違うことが多くあるので、新しく始まる生活に期待している人や不安を抱く人もいます。そんな新入生の皆さんが、楽しく充実した学生生活を送れるようにアドバイスをお伝えできればと思います。

福山大学では、学生のために貴重な経験ができる研修プログラムが数多く用意されています。私が在学している国際経済学科では、海外へ行く機会が多くあり、私は1年次にインドネシアのバリ島研修や他大学連携のタイ研修に参加しました。海外研修に参加することによって多くの海外の友人ができ、積極性やコミュニケーション能力を高めることができます。また、学内では国際経済学科の友人と国際コミュニケーション研究会を立ち上げ、国際機関で勤務された経験を持つ教員に英語スピーチの指導をしてもらっています。

学生生活は、時間があっという間に過ぎていきます。だから、新入生の皆さんは「まだ1年生だからいいや」ではなく、早めにいろいろな所へ行って、いろいろなことに挑戦してみてください。また、やりたいことを希望すれば、大学が様々な形でサポートしてくれます。

大学生でしかできない大切な今を楽しんでください。

経済学部 国際経済学科 2年 操田 慎哉



「思考」を喜びに！



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。未知の大学生活に、期待と一抹の不安を抱えていることと思います。大学生活は高校までの生活とうって変わって、勉学・部活動・課外活動など、行動のほとんどを「自由」に選択する自主性が要求されることになります。その中で、どれだけ積極的に自分の関心のある学問に対して向き合えるのか、大学生活の密度はそれにより格段に違ってくると思います。

私は、この1年間を自分が多種多様な学部・学科の専門分野の中で、何に興味があるのかについて考える時間として使ってほしいと思います。私たちの学科のスローガンにもあるように、自分では学問にはならないと思えるものでも、大学にはそれを笑い飛ばすような先生や仲間は存在しません。自分が「好きなもの・楽しいと思えるもの」が、後にゼミの研究や卒業論文、ひいては一生の自分の研究課題となり得るのだと思います。そして、種類の異なる学問を学んでいく中で、それらの点と点が線になる瞬間に経験のない「思考することの喜び」を見出してほしいというのが私の願いです。

私たちや先生方を含め、皆さんを全力でサポート・応援しますので、これからの4年間で有意義な大学生活にしてください。

人間文化学部 人間文化学科 4年 吉川 万葉

学修に取り組む前に

チャレンジする大学生活

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高校を卒業して新たな生活が始まった今、期待と不安で胸がいっぱいだと思います。そんな皆さんへ、大学生活ではどんなことをすればいいのか、少しアドバイスをしたいと思います。

まずは、いろいろなことに挑戦してみてください。大学生は高校生のように時間割が決めておらず、自分の時間がたくさんあります。その時間で何をしたかで、大学生活は大きく変わると思います。私は大学3年次の夏から半年間、ブルガリアへ留学しました。留学生活の中で、日本とは異なる文化や人々と触れ合い、考え方や自分の中の世界観を大きく変える経験をすることができました。その中で、挑戦するということの大切さを知ることができました。

あと1つは、たくさんの人と交流してみてください。大学には様々な価値観を持った人がいるので、その人たちと交流することで知らなかった世界が見えてきます。さらに、大学だけでなく地域の人と交流することで、どんどん自分の世界が広がっていくはずです。

大学生活をどう過ごすかは、すべて皆さん次第です。たくさんの挑戦をして悔いの残らない大学生活を送ってください。皆さんの大学生活が素晴らしいものになることを願っています。

工学部 建築学科 4年 杉田 雄



大学生活を充実したものに



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しくなった環境で不安もあるでしょう。しかし、大学では今までの高校生活ではできなかったことが、多々できるようになります。例えば、アルバイトや友人と旅行、海外留学などです。また、サークルに入って汗を流すのもいいと思います。学習面では、頼りになる先生や先輩がいますので、しっかり頼ってください。

大学生活は、今までより自由が利き、正直不安よりも楽しいことの方が多いと私は思います。しかし、私は少し後悔していることがあります。それは、大学は4年間あるのだから、やりたいことはいつでもできるだろうと思ってしまっていたことです。私は、3年間をほぼアルバイトに費やしてしまいました。アルバイトをすることは悪いことではないですが、それ以外にも資格を取ったり海外に行ってみるなど、自分の視野を広げる経験がもっとできたはずです。大学生活は本当にあっという間です。あの時こうしていれば、という様な後悔をしないためにも、予めどの様に過ごしていくかを大雑把でもいいので計画を立てておくとうれしいと思います。

それでは、皆さんの福山大学での日々が充実したものになるよう願っています。

生命工学部 生物工学科 4年 沖原 悠也

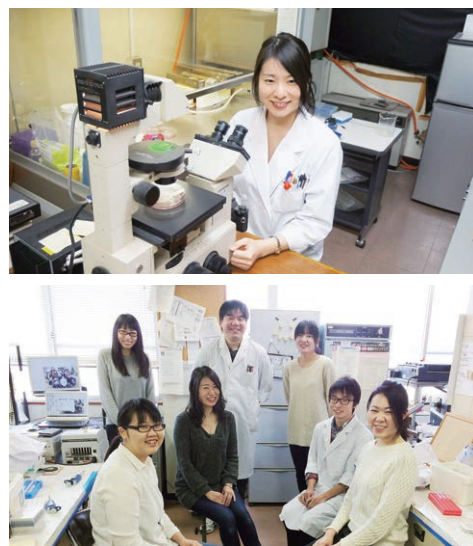
挑戦する姿勢を大切に！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生になった心境はどうですか？初めのうちは期待や希望だけでなく、不安や戸惑いも多くあると思います。私も入学当初は、勉学や生活の面など不安なことがたくさんありました。これから、皆さんの助け合える仲間や支えてくれる先輩、先生方に出会えると思います。まずは落ち着いて、自分のことから始めてみてください。

大学では高校の時よりも、時間を思い通りに使うことができます。勉強、研究、サークル活動、アルバイト、恋愛、旅行など、どのように過ごすかは個人の自由です。ただ、平凡に学生生活を送るというのも幸せかもしれません。しかし、挑戦することや本気で取り組むことで得られるものはたくさんあると思います。私も3年次までは何となく学生生活を送ってきましたが、何かを本気で取り組みたいと思い、今は研究を頑張っています。自分で計画を立てて実験し、その成果をまとめて学会で発表するほか、後輩の指導や国家試験に向けての勉強など忙しい日々を送っていますが、とても充実しています。

皆さんも、自分のやってみたいことに精一杯挑戦して、充実した学生生活を送ってください。

薬学部 薬学科 6年 宇田 有沙



キャンパスライフへの指針

大学教育センターは、福大での学びの頼りになるサポーター！

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。時はめぐり、この三蔵の地に桜咲く春がまた訪れ、今年も多くのフレッシュな仲間を迎えました。皆さんの中に、大学とは受験勉強がようやく終わり、社会に出るまでのモラトリアム、つまり、世の中で一定の役割を引き受けざるを得なくなるまでの猶予期間をノンビリ楽しく過ごすところと思っている人はいませんか？そうでしょうか？誰かによって敷かれたレールの上を走る高校までの学びではなく、興味・関心の赴くままに自ら探求する「本当の学び」が実はこれから始まるのです。それは、テレビのバラエティ番組のような意味での面白さではないかも知れませんが、時に辛さを伴うこともあるでしょう。しかし、真に「教養ある人」、精神の自由を身につけた人となる楽しみが学びの先にあるのです。

大学では、入学してすぐに専門科目ばかりを学ぶわけではありません。学部や学科ごとの専門の学芸が教授されるとともに、幅広い知識と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を育成するための共通教育のカリキュラムが組まれています。まさに、「教養ある人」となるための学びです。いわゆる教養の意味は、時代や社会とともに変化してきました。古代ヨーロッパでは、セブンリベラルアーツ(=自由七科)と呼ばれた文法・論理・修辞・算術・幾何・天文・音楽の7つの学問内容が重んじられたといえます。現代では、もっと広く「変化の激しい社会にあって、地球規模の視野、歴史的な視点、多元的な視点で物事を考え、未知の事態や新しい状況に的確に対応していく力」などと表現できるかもしれません。少し具体的に言えば、①社会との関わりつつ、自己を位置づけ律したり、自ら秩序を作り出したりする力、②自国と他国、あるいは単に異なる国という意味だけでなく、もっと広く、異なる性、世代、言語、宗教、価値観、生き方、習慣など「自分とは異なるもの」を深く理解し尊重しうる力、③自然や物の成り立ちを理解し、論理的に対処するとともに、科学技術の功罪両面についての正確な理解力や判断力を持つことなどが、その中身になるでしょう。

このような数年間の大学での学びの基礎となる共通教育の充実を担うために設けられたのが、大学教育センターです。福山大学の使命にふさわしい共通教育を提供し、その内容・方法を絶えず見直すのが第1の目的です。それとともに、大学全体の教育改革をリードするという第2の目的を掲げています。これらの目的を達成するために様々な部門が置かれていますが、学生の皆さんが直接関わるのは共通教育を担当する部門のほか、学修支援部門や資格取得支援部門です。学修支援部門では、大学での学び全般

について、各学部・学科と連携して補習授業を企画し、実施しています。具体的には、1号館3階と34号館3階に学修支援相談室を開設し、学びの方法の相談から具体的な問題の解法まで相談に乗ります。皆さんの自主学修を支えるために、コンピュータを活用したeラーニングシステムも整備し、学内・学外のどこからでもアクセス可能です。種々のeラーニング教材を使って理解度を確認しながら、マイペースで学べます。また、ちょうど私たちがサプリメントによって必要な栄養素を補うように、通常の授業レベルを超えた高度な内容を学びたい諸君の希望にも応えるように務めています。もう1つの資格取得支援部門では、英語のTOEICや中国語のHSK、日本語検定をはじめとする語学関係だけでなく、工学、心理学、ビジネス関係の検定試験など、皆さんが資格を取得する上での便宜を図っています。検定試験受検のための指導に加えて、福山大学は受験料の補助や検定合格者への奨励措置も講じています。是非とも、在学中に多くの資格を取得できるように頑張ってください。大学教育センターはできるだけサポートします。

冒頭にも触れましたが、大学での学びが高校までと一番違うのは、大学では多くのことが自由に決められ、何事にも自主性や主体性が必要だという点です。それだけ、自己責任が求められることは言うまでもありません。その際、誰もが回り道をしたりしないで、自分の求めるゴールに向かって一直線というわけにはいきません。勉学の上で道に迷うこともあるでしょう。そんな時には、大学教育センターという名前を思い出して訪ねてみてください。きっと解決につながるヒントが見つけれられるはずです。

さらに、大学教育センターは本学の教育に対する皆さんからの意見を広く集める各種のアンケートを実施したり、通称「フクトーク」という学生による企画提案型の意見交換会を毎年開催したりしています。その他、教員同士が自らの授業を同僚に公開し、切磋琢磨し合って授業の在り方の改善を目指す「授業研究」も大学教育センターの大切な仕事です。

大学教育センターの教職員は、学生諸君がセンターの施設やスタッフを気軽に活用してくださり、本学で充実した学びの日々を送れることを願っています。さあ、今日から一緒に私たちの福山大学という「知の共同体」の仲間として自らを鍛え、「教養ある人」となるための歩みを始めようではありませんか。

大学教育センター長 大塚 豊



授業研究：教師の学びの一幕



フクトーク：学生諸君に教育改善のための意見を聞く集い

キャンパスライフへの指針

主体的に学ぶことを心がけよう！



アクティブ・ラーニング(人間文化学部)
(問題解決型学習+SGD)
「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」
※SGD: スモールグループディスカッション



アクティブ・ラーニング(薬学部)
(問題解決型学習+チュートリアル)
「生体機能の調節Ⅰ」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活では、皆さんにとって将来社会で活躍できる力を身につけるための、様々な“学び”が待ち受けていることでしょう。そこで、大学生活では主体的に学ぶことが大切です。

本学には独自の教育システムがあり、目標を設定してステップアップ方式で学修し、確かな学力を無理なく身につけていきます。入学から卒業まで、一連の目標とカリキュラムの関係を示す「カリキュラムマップ(教育プログラム)」をよく見て、目標と学修ルートをしっかり把握しましょう。また、マップの目標に到達するために、各授業科目の目標も授業概要「シラバス」で必ず確認しておきましょう。

本学の学修では、学生ポータルシステム「ゼルコバ」を利用します。休講や補講、シラバスに示す授業内容や準備学習、成績や出欠の情報はじめ、大学から配信する情報をきちんと把握しましょう。また、進級・卒業に必要な単位数など、いろいろな規則や手続きを記載している「学生便覧」や「教務のてびき」もよく読んでください。年度の始めには無理のない履修計画を立

て、年間で履修する授業科目を登録します。日々の学修では、事前にシラバスで授業内容を確認し、課題のほかに予習や復習など事前・事後の学習にも気をつけましょう。また、本学では学修効果が高まる能動的な学習「アクティブ・ラーニング」を取り入れる授業が増えています。さらに、キャンパス内では携帯端末やPCの利用が増え、無線LAN環境、PC室などのICT(情報通信技術)設備や施設を整え、学修支援システム「セレッソ」、eラーニング/リメディアル教育システム「アザレア」、アプリを備えたクラウドサービス「Office 365」などが利用できます。授業に関する質問や相談は、予約なしで担当教員と面談できる「オフィスアワー」を利用したり、大学教育センターの「学修支援室」も利用できます。学修についての不明な点や悩みなどがあれば、クラス担任や教務課に気軽に相談してください。

新入生の皆さんが、自分の可能性を信じ、チャレンジ精神を發揮して学修に臨み、夢の実現に向かって邁進することを願っています。

教務委員長 坂口 勝次

充実した学生生活を送るにはどうする？

平成29年度が始まりました。皆さんも、大きな希望を持って福山大学に入学してきたことだと思います。“どんな勉強をすれば良いのだろうか”、“どんなクラブで頑張ろうか”、“初めてなのでわからないことが多いだろう”など様々なことで悩むと思います。悩んだら、まずは「学生課」か「クラス担任」の所へ行き、気楽に相談してみてください。迷うことなく、躊躇せず、早ければ早いほど効果的だと思います。

皆さんには、是非ともこの福山大学で充実した学生生活を過ごしていただきたいと思います。志・目標を持たずに過ごすとは上手くいかなかったのは大学のせいだとか、教え方が悪いとか、友達が悪いとか……、要は人のせいにして、自分の努力の足りなさをごまかしてしまうことです。結果、後悔だけ残るということになってしまいます。後悔を残さないためには、今日からは人生の節目(高校生から大学生)であると捉えることです。節目とは一気に自分の目指す自分に挑戦できる時です。上手くいっている部分は継続し、今まで上手くいかなかった負の部分は自分を変えるチャンスであると捉え、物事を前向きに考え、新しい自分を力

がある自分に挑戦していったほしいと思います。

次に考えておかなければいけないことは、お互いに『自分がされたいやなことは他の人にしない』『相手の保護者がいる前で言ったりできないことはしない』ということです。我が子が虐められていたら、それを見ている親が許すことは決してありません。君たちが親になれば、どんなことがあっても助けるし、許すことはありません。自分の友達を、自分のおもしろ半分、おもしろおかしく扱ってははいけません。お互いに信頼できる人間関係を学生の間に築き上げてください。

最後になりますが、自然に恵まれた福山大学をさらに良い大学にするため、快適な学修環境や生活環境にしていきたいと思っています。そのためには、皆さんの力が必要です。学生と教職員で協働して、汚す・散らかす等をなくすなどのマナーアップから始めたいと考えています。これから始まる学生生活にふさわしい学修環境の向上と維持へのご協力をよろしくお願いいたします。

学生委員長 田中 哲郎



キャンパスライフへの指針

就職活動と支援体制



就職ガイダンスの様子



卒業生による業種説明会の様子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。近年、経済状況や景気が堅調に推移しており、本学の最近の就職状況は極めて好調といえます。このような現状の中で、就職活動へ真摯に取り組み、戦略的に活動を行うことにより、ほとんどの学生が内定を手にすることができています。本学では、卒業・修了予定の学生の皆さんに様々な就職支援を行っています。就職支援は大きく分けて、学生の就職活動の支援と学生の就業力育成の支援の2本柱があります。就職活動を直接的に支援する委員会が就職委員会です。就業力を育成するための委員会がキャリア形成支援委員会です。この就職委員会とキャリア形成支援委員会が相互に協力して、学生のキャリア形成や就職支援を行う体制を採っています。

就職委員会では、就職課と協力して就職相談・履歴書の書き方指導、個人面接・集団面接・グループディスカッション指導などを運営しています。これに加えて、ハローワークから派遣されるジョブサポーターの支援に加えて、1級キャリア・コンサルティング技能士の資格を持った職員による就活相談体制を採っています。また、学生ポータルシステム「ゼルコバ」を用いたWEB就職システムを導入して、就職委員・ゼミ担当教員・就職課が連携して、学生一人一人の就活状況

や面談記録などの情報を把握して、強固な就職支援体制を採っています。

また、昨年から同窓会のご協力により、卒業生による業界説明会を実施することになりました。金融業、製造業、教員や公務員など多岐にわたる50業種以上の団体に参加していただき、仕事の内容ややりがいなど、先輩からの貴重な情報を得る機会を設けるようにしました。学生にとって、通常の合同企業説明会ではわからない先輩の「生の声」を聴くことができ、大変有意義な説明会となっています。学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。

さらに、本学独自で開催している合同企業説明会も年数回行っており、年々参加企業数も多くなり、年間を通して約1,000社になりました。本学の学生を積極的に採用したいという企業ですので、大いにこの機会を利用してください。これに加えて、学生の希望に応じて全国各地で開催される就職情報サイト主催の合同企業説明会には、大学所有の大型バス(ハイデッカー)を運行しています。また、社会人として身につけておく必要があるものとして、身だしなみ講座や女子学生のためのメイクアップ講座なども開催しています。

就職委員長 三谷 康夫

BINGO OPEN インターンシップを通じて思い描く社会人へ近づく

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「専門分野について深く学びたい」、「将来の方向性を見つけない」とこれから始まる大学生活に期待と希望で胸を膨らませていると思います。

大学での学びは、高校までの学びと大きく異なります。高校までは学校から提供されるものを受けるという受動的な学びでしたが、大学では自分の興味・関心事や自分の現状を知り、目指す目標を見据えて必要だと思ふことを自分で考えて選択し、決める能動的・主体的な学びとなります。この学びの姿勢や態度は、社会に出て求められる力です。是非とも、大学生活の間に身につけてください。そして、常に意識してほしいことは、ほとんどの人が4年後、6年後には社会人として実社会に出るということです。この大学生から社会人へと大きく変わるための準備は、今からしておかなければなりません。

福山大学では、実社会を経験するために本学独自のBINGO OPEN インターンシップを展開しています。インターンシップとは、夏季休業中に企業で1週間程度の“就業体験”を行うことであり、アルバイ

トとは全く異なります。特に、BINGO OPEN インターンシップは学生一人一人の可能性を伸ばす貴重な学びの機会と捉え、他大学にはないインターンシッププログラムを実施しています。このインターンシッププログラムに参加した学生からは、8割以上が「参加してよかった」と答え、「将来への視野が広がるので、やりたいことがはっきりしない人は参加すべき」、「イメージと実際はかなり違う」、「企業の選び方を教えてもらえ、今後の就活に活かしたい」というように、今後の大学生活や卒業後のキャリア形成を考える機会になっています。なお、昨年度の参加者は138名で1年次も参加しています。

このインターンシップをサポートするのが各学科のキャリア形成支援委員であり、7号館2階にある「自分未来創造室」です。自分の将来や自分の人生をしっかりと考え、少しでも自分の目標に近づくために、「自分未来創造室」を活用してください。

まずは、インターネットで「福山大学 自分未来創造室」と検索してみましょう。

<http://www.fukuyama-u.ac.jp/pj/jibunmirai>

キャリア形成支援委員長 津田 将行



自分未来創造室



インターンシップ実習中(八天堂)

「サンフレッチェ広島」との教育提携講座について

平成29年4月より、経済学部経済学科において株式会社サンフレッチェ広島の全面協力を得て、教育提携講座「スポーツマネジメント論」を開講します。

現代社会では、スポーツはこれまでの体育という概念を超え、競技としてのスポーツだけでなく、健康産業を含むスポーツビジネス、あるいはスポーツを通じた地域活性化の役割が期待されるなど、幅広くスポーツが取り扱われるようになっていきます。すなわち、少子高齢社会の日本において、今後ますます、スポーツ・健康産業に従事する人材が必要とされ、専門的に学んだ人材の活躍の場が広がることが予測されます。したがって、本講義ではスポーツの現場で実際に活躍している人を講師に招き、オムニバス形式でスポーツマネジメントの全体像を学ぶことを目的としています。

単位認定となる全15回の講義は、株式会社サンフレッチェ広島の全面協力を得て、クラブ職員や選手OBをはじめ、スポンサー、サプライヤー、メディア、その他スポーツ団体からも外部講師を招き、スポーツマネジメントについて学ぶ内容となります。

1. 講座名：福山大学×サンフレッチェ広島 教育提携講座「スポーツマネジメント論」
2. 開講期間：平成29年度前期(4月～7月)全15回

◆松田文子学長のコメント

この度、我が福山大学の経済学科内にサンフレッチェ広島様のご協力を賜りながら、スポーツを幅広く学ぶ提携講座を開講することができ、心から嬉しく思っています。本学には、経済学部経済学科にスポーツマネジメントコースがあり、元々、部活動でスポーツを実践してきた学生も多くいます。これらの学生を含め、多くの学生たちがスポーツをビジネスとして学び、今後立派な社会人としてスポーツ関係の仕事を目指すきっかけになれば、と期待しています。

総務部 企画・文書課



平成28年度「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の採択について

福山大学では、ICT活用のアクティブ・ラーニングを推進すべく共同利用センターを中心に、パソコン教室や有線・無線LAN環境の充実に取り組んできました。Cerezo(セレッソ)と名付けた「学修支援システム(LMS)」を導入し、各種のソフトウェアをいつでもどこでも利用できるように「Office 365」の導入も行いました。

そうした中で、平成28年度には「PC必修化」を視野に入れ、LMSを活用した双方向のインタラクティブな授業や講義動画を用いた反転授業の実践、eラーニング教材や学修ポートフォリオの効果的な活用が可能な最先端のICT環境整備を行うために、文部科学省に対して「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」の助成金を申請しました。幸いにも申請が認められ、10,566千円(補助対象経費の71.4%助成)の補助金が与えられることになりました。このカテゴリーでの支援事業は4年連続の採択です。本学の日頃の教育の質的改善努力が評価された結果といえるでしょう。ちなみに、本事業とは別に「私立学校施設整備費補助金のICT活用推進事業」及び「私立大学等研究設備整備費等補助金」でも助成対象に選定されました。

本事業による整備対象は、具体的には全学部・学科の学生が受講する共通教育科目において、特に利用率が高い1号館の5つの中講義室であり、ポイントは既存のICTサービスや機能を最大限に活用できる学修環境の構築です。各講義室には、2台のプロジェクターを用いたデュアルスクリーン環境を整備しています。主として、授業進行用のスライド等を表示するメインスクリーン

に加えて、Cerezoの双方向型授業を支援する機能(例：リアルタイムアンケート、相互コメントなど)を同時に表示するサブスクリーンを追加設置します。画面の切り替えで授業を中断することなく、双方向の授業がスムーズに展開できるはずですが、学生が所有するパソコン等の画面を無線接続し、プロジェクターを通じて分割出力できる情報共有機能を活用して、受講生の意見を教室全体で即時に共有し、異なる意見を比較表示して討論へと導くなど、学生を巻き込んだアクティブ・ラーニングがより容易になるでしょう。学生の理解度の把握、学修履歴を利用した効果的な個別指導、授業外学修時間の把握なども容易になり、本学の教育のさらなる質的向上が期待できます。

大学教育センター長 大塚 豊



キャンパスマップ

CAMPUS MAP

豊かな自然に包まれた
広大なキャンパスが
学びを応援。

34万平方メートルに及ぶ
広大なキャンパスは、緑あふれる
環境のよい学びのステージです。



キャンパスの中央にあるこの
広場は、学生たちのくつろぎ
のスペースです。各行事で
は、メインステージとして交
流の場にもなっています。



仲間と共に
成長しよう！

CAMPUS MAP

楽しいイベントも
たくさん！

充実した
施設がいっぱい！



20 大会館大ホール

1,500人収容の本格的な
音響設備が整っている
このホールでは、入学式や卒業式を行うほか、
教養講座やコンサートなどが開かれます。

■経済学部

- 1 経済学科
- 2 国際経済学科
- 3 税務会計学科

■人間文化学部

- 4 心理学科
- 5 人間文化学科
- 6 メディア・映像学科

■工学部

- 7 スマートシステム学科
- 8 建築学科
- 9 情報工学科
- 10 機械システム工学科

■生命工学部

- 11 生物工学科
- 12 生命栄養科学科
- 13 海洋生物科学科
- 14 生命工学部共通施設

■薬学部

- 15 薬学科
- 16 医療薬学教育センター
- 17 動物飼育センター
- 18 薬用植物園(薬草園)

大学附属施設

- 19 大会館
- 20 記念館
- 21 図書館
- 22 共通講義棟
- 23 安全防災教育研究センター
- 24 グリーンサイエンス研究センター
- 25 共同利用センター・社会連携センター

学務部

- 26 学生課・国際交流課
- 27 教務課
- 28 就職課
- 29 国際センター
- 30 保健管理センター

生活施設

- 31 第一食堂
- 32 第二食堂
- 33 コンビニエンスストア
- 34 大会館食堂
- 35 Fu's Café
- 36 売店
- 37 女子寮

スポーツ施設

- A 体育館
- B 武道館
- C サッカー場
- D 野球場
- E 人工芝多目的運動場
- F 軟式テニスコート
- G 硬式テニスコート
- H トレーニング室
- I クラブハウス

やすらぎとくつろぎの施設

- J 記念の広場
- K 爽風の庭
- L 記念の森
- M いこいの森
- N 青池
- O 三蔵池
- P 四季の陽だまり

通学

- Q 学生第一駐車場
- R 学生第二駐車場
- S 駐輪場
- T JR福山駅直行バス発着場
- U スクールバス発着場



体育の授業をはじめ、室内競技クラブなど
の練習に使われる体育館は、学生たちの
体力づくりのホームベースとなっています。



剣道部、柔道部、空手道部、合気道部など
の武道系クラブが練習に使用しています。



最新の人工芝を完備しています。サッ
カー部の練習場としてはもちろん、地域
のサッカー交流にも利用されています。



本格的に整備された野球場は、硬式野
球部の練習場です。また、夜間照明も完
備しています。



5基のLED照明と着脱可能なラグビー
ゴールが設置されています。サークルだ
けでなく、ゼミや研究室で使うことも
可能です。



33 コンビニエンスストア



36 売店

書籍、パソコン周辺機器、文具からお菓子まで幅広い商品を取り揃え、キャンパスライフをサポートしています。

Let's enjoy Campus Life!



P 四季の陽だまり

平成25年11月、工学部棟のそばに完成しました。学生の憩いの場に最適です。



35 Fu's Café

平成24年12月、大学会館2階にオープンしました。メニューは、本日のパスタ、グラタン、ドリア、サンドイッチ、焼きたてパン、ケーキなどで、軽食などの喫茶を中心に取り揃えています。

スイーツも
楽しめちゃう!



多様な過ごし方ができる 充実したキャンパス。

学びの場所だけでなく、心安らげるスポットや生活をサポートしてくれる便利な施設等もあります。

豊富なメニューに
お腹も満足!



34 大学会館食堂

季節に合わせて工夫された豊富なメニューは、授業の合間のひとときを食事やお茶でゆっくり楽しむのに最適です。



K 爽風の庭



21 図書館

34万冊を超える蔵書と国内外の雑誌を幅広く取り揃え、学修・研究の場と情報を学生や教員に提供しています。



学生ホール



L クラブハウス



ロタン橋



勉強の
つよい味方!



37 女子寮



U スクールバス発着場



H トレーニング室

行事予定

平成29年度 主要行事日程予定表

4月1日(土)	前期(4/1～9/15)	10月8日(日)	平成30年度指定校入学試験
4月3日(月)	入学式	10月27日(金)～30日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会
4月3日(月)～7日(金)	新入生オリエンテーション	11月7日(火)～8日(水)	平成30年度推薦入学試験(A日程)
4月5日(水)～6日(木)	新入生合宿オリエンテーション	11月中旬	大学院入試(経済学)
4月6日(木)～7日(金)	在学生オリエンテーション	11月中旬	教職員健康診断(特定健康診断を含む)
4月6日(木)～17日(月)	定期健康診断(学生)	12月9日(土)	平成30年度推薦入学試験(B日程)
4月6日(木)～20日(木)	Web履修登録期間	12月16日(土)	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部, 人間文化学部, 工学部, 生命工学部)
4月10日(月)	前期授業開始	12月21日(木)	授業終了
4月15日(土)	6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)	12月22日(金)	冬季休業開始
4月24日(月)～28日(金)	Web履修確認・辞退期間	12月27日(水)～1月4日(木)	仕事納め 年末・年始休業
4月28日(金)	合同企業説明会(薬学部)	1月4日(木)	冬季休業終了
5月15日(月)	開学記念日・学長杯争奪競技大会	1月5日(金)	仕事始め 授業開始
5月23日(火)～25日(木)	教職員健康診断(特定健康診断を含む)	1月13日(土)～14日(日)	大学入試センター試験
7月上旬	大学院入試(経済学, 工学)	1月下旬	大学院入試(経済学, 工学)
7月28日(金)	前期授業終了	1月30日(火)	後期授業終了
7月29日(土)～8月5日(土)	前期定期試験	1月31日(水)～2月3日(土)	平成30年度前期入学試験(A日程)
8月6日(日)	夏季休業開始	2月5日(月)～14日(水)	後期定期試験
8月下旬	大学院入試(工学)	2月中旬	企業懇談会
9月4日(月)～10日(日)	教育懇談会	2月15日(木)～28日(水)	学部・学科別行事
9月上旬	大学院入試(人間科学)	2月21日(水)	平成30年度前期入学試験(B日程)
9月中旬～10月下旬	公開講座	3月1日(木)	春季休業開始
9月16日(土)	後期(9/16～3/31)	3月上旬	大学院入試(人間科学, 薬学)
9月19日(火)～28日(木)	後期Web履修登録・変更期間	3月上旬	合同企業説明会 (経済学部, 人間文化学部, 工学部, 生命工学部)
9月20日(水)	夏季休業終了	3月10日(土)	平成30年度後期入学試験
9月21日(木)	後期授業開始	3月20日(火)	学位記授与式(卒業式)
10月上旬	大学院入試(経済学, 薬学)		

【備考】本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月刊予定表に記載されます。

4月の行事

4月3日(月)	入学式 新入生オリエンテーション	4月11日(火)	定期健康診断【男子：2・4・6年次生・院M2・D3】
4月4日(火)	新入生オリエンテーション	4月12日(水)	定期健康診断【午前女子/午後男子：1・3・5年次生・院M1・D1・D2】
4月5日(水)	新入生合宿オリエンテーション	4月13日(木)	定期健康診断【男子：1・3・5年次生・院M1・D1・D2】
4月6日(木)	新入生合宿オリエンテーション 在学生オリエンテーション 定期健康診断【午前男子/午後女子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月14日(金)	定期健康診断【午前男子/午後女子：1・3・5年次生・院M1・D1・D2】
4月7日(金)	新入生オリエンテーション 在学生オリエンテーション 定期健康診断【女子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月17日(月)	定期健康診断【午前男子/午後女子：1・3・5年次生・院M1・D1・D2】
4月10日(月)	授業開始 学科別オリエンテーション【4・5年次生】 各種説明会【2～4年次生】 定期健康診断【男子：2・4・6年次生・院M2・D3】	4月6日(木)～	
		4月20日(木)	Web履修登録期間
		4月24日(月)～	
		4月28日(金)	Web履修確認・辞退期間



編集後記

寒暖の激しい冬がやっと終わり、最も美しい季節になりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。様々な思いが交錯しているかと思いますが、本号では先輩や先生から新入生に向けたアドバイスを掲載していますので、是非参考にしてください。なお、本学のニュースはこの学報だけでなく、ホームページや学長室ブログ、Facebook等でも順次発信しています。是非、ご覧ください。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>